

# リウマチ科

## ■吉澤 和希 内科・リウマチ科部長

日本リウマチ学会専門医,  
日本内科学会総合内科専門医,  
日本東洋医学会専門医,  
日本人間ドック学会専門医,  
日本プライマリケア学会認定医

## 展望

引き続き一人部長で関節リウマチおよびその他の膠原病につき対応している。サテライトクリニックである葉山デイケアクリニックおよび湘南かまくらクリニックに月2回ずつの診療、および徳洲会グループの関連病院である松原・白根・徳之島各徳洲会に月1日ずつ専門外来診療、訪問診療でのリウマチ膠原病患者さんを含めた対応、希望患者にはエキス剤・煎じ薬含めた漢方薬治療を行っている。整形外科的手術については人工関節センターでTKA THAの依頼、およびそれ以外の手術については当院整形外科に適宜コンサルトを行っている。入院患者についてはリウマチ科で主治医になることもあるが、主に総合内科のスタッフ・後期研修医の積極性につき主治医になっていただき、コンサルタントの立場から指導を適宜している。また特に膠原病については内科各々の専門家に検査・治療依頼することも多く、コンサルト・連携を図っている。このように主に外来業務中心となっているが病院周囲に専従リウマチ専門家の数が不十分のため、外来は混雑しており十分な対応ができなくなることが苦慮されており、周辺のリウマチ治療に積極的な整形外科および内科Dr.と病診連携の会を施行し、交流を図っている状況である。かつ聖マリアンナ医科大学に依頼し、週2コマの外来非常勤、以前当院につとめていた東京医科歯科大学の福田Dr.に週1コマの外来をお願いしている。

新規薬剤として低分子化合物としてゼルヤンツが発売された。従来の生物学的製剤と作用機序が異なるJAK3阻害薬であり、高額であるが内服であり、今後の評価次第では活躍が期待される。

## 診療実績

1ヶ月あたりの外来数	約860名
内リウマチ患者数	約300名
その他のリウマチ膠原病患者数	約150名
MTX使用者	約200名
生物学的製剤使用者約	70名

## 学術業績

特になし

## その他

- 1月22日 鎌倉リウマチセミナー（鶴ヶ岡会館）
- 2月 2日 ヒュミラフォーラム  
（ザ・グランドホテル）
- 5月12日 MK-8457第II相国際共同試験investigator meeting
- 9月15日 アヴィ ファカルティフォーラム  
（京王プラザホテル）
- 10月22日 鎌倉逗子リウマチセミナー  
（ホテルメッツ）
- 11月24日 AMG162キックオフミーティング  
（ホテルオークラ 東京）